

石巻赤十字病院での研修を終えて

5期 グループC

1. 研修前の知識

メンバー4名のうち臨床経験があるのは1名のみで、他3名は臨床経験や病院での実習経験がほぼなく、現場における知識が乏しかった。また、地域病院と大学病院の役割の違いについても理解が不十分であった。一方、メンバーそれぞれが異なるバックグラウンドを持っているため、多角的な視点から研修に臨んだ。

2. 研修の目的

- ① 地域医療・災害医療・救急医療の現状を理解し、課題を発見する
- ② 未来型医療におけるニーズと解決策を考える
- ③ 自身の研究内容との関連を考えながら学ぶ

3. 授業内容

研修は5日間にわたり、病院施設の見学と講義を通じて、地域医療や高齢者医療に関する知識だけでなく、災害拠点病院や原子力災害拠点病院としての役割について学んだ。

【1日目_石巻赤十字病院】

初日の講義では、急性期病院としての機能や役割、総合患者支援センターが行っている入退院支援などについて学んだ。

施設見学では、ヘリポート、免震構造、原子力災害医療棟に行き、大規模地震などの災害対策や原子力事故の対応について学んだ。また、救急外来にも見学に行き、業務内容の厳しさを実感した。

【2日目_石巻赤十字病院】

2日目は手術室に行き、手術室の構造や最新技術である手術ロボットのDa Vinciによる手術を見学した。がんサロンでは、実際にネイル体験などを行い、アピアランスケアについて理解を深めた。

また講義では、産業医の先生による医者や看護師の労災や健康問題について学んだ。薬剤部と臨床心理課へは、2人ずつに分かれて興味のある部門を訪れた。臨床心理課では臨床心理士と対話し、心のケアの必要性和課題について議論した。

【3日目_石巻赤十字病院】

3日目は、はじめに褥瘡ケアの説明を聞き、褥瘡の予防や治療法、課題を学んだ。災害医療について、東日本大震災当時の救護活動についてだけでなく、災害を通して学んだ教訓、課題や訓練について学び、災害拠点病院としての役割を理解した。

脳神経内科と緩和ケアセンターには、同様に2人ずつに分かれて興味のある部門に見学に行った。脳神経内科では、石巻赤十字病院の病床の9割は脳卒中患者であることや、脳神経内科の業務内容について学んだ。さらに、私たちの研究に活かせるアドバイスをいただいた。

【4日目_大川小学校、南三陸病院】

4日目は東日本大震災で津波被害にあった大川小学校を訪れ、津波の脅威と被害を実際に目撃し、災害時の対応の重要性を再確認した。また、南三陸病院では、訪問診療に同

行し、診療時間に対する移動時間の長さを実際に体験し、重要な課題であることを認識した。

【5日目_石巻赤十字病院】

研修の最終日には、4日目までの講義や見学を基に各自が必要だと考えたニーズステートメントとそのソリューションについて発表した。

4. 地域医療の課題

本研修を通して考えた課題は大きく3つある。

① 高齢者の通院手段の確保

現在も核家族化や老老介護といった課題があるが、今後少子高齢化が更に進むことが予想される。地域は公共交通機関も十分ではなく、地域で暮らす高齢者は運転免許を返納してしまうと通院が困難になると思われる。訪問診療も行われているが、過疎地域では医療者の移動時間が長くなってしまうため、一日に診療可能な患者数が減るという課題がある。

② 医療職のタスクシフト、業務効率化

2024年4月から医師の働き方改革が施行されるため、早急なタスクシフト、業務効率化が求められている。しかし地域の人口減少は顕著であり、働き手の医療者数も減少している。働き手の確保やオートメーション化による業務効率化を図る必要があると考える。しかし、医療機関の約7割は収益が赤字との報告もあり、人件費などの財源確保も課題となる。

③ 医療機器の複雑化

在宅医療が進み、吸引機や在宅酸素、人工呼吸器などの様々な在宅用の医療機器が使用されている。しかし、在宅用の医療機器は医療機関で使用されているものと操作方法がほぼ変わらず、高齢者にとって操作方法がわかりづらいという課題がある。また、在宅医療機器の置き場所や使用する際の導線を確保するため、家具の配置を変更が必要な場合がある。

5. 研究や仕事に活かせること

地域での医療における課題を解決するためには、より個別化した、高齢者にも対応可能なソリューションを考えていく必要があると考えた。今回の研修を通じ、今後の研究で未来型医療の創造に貢献したいというモチベーションが向上した。未来型医療の利用者には高齢者もいるため、誰でも直感的に理解し利用できるような明快さを研究でも医療機器の開発でも求めていきたいと感じた。

6. 改善点・限界点

今回の研修における限界点として、ニーズの深掘りが難しかったことが挙げられる。様々な分野の施設見学と講義を学んだことで幅広い現場を知ることができた一方、どうしても一つの現場からのインサイトを得る機会が少なく、取りこぼしてしまったニーズもあったと考える。また、4日目の南三陸病院の訪問診療から発見したニーズもあったが、最終日での発表までの時間が少なく、深掘りが難しい部分があった。

7. 結語

今回の石巻赤十字病院での研修で、グループ内で多角的な視点から地域病院における課題を発見し、未来型医療としての解決策を提案した。今回習得したニーズステイトメントとソリューションの提案に至るまでのプロセスの進め方を、未来型医療のデザインに活かしていきたい。